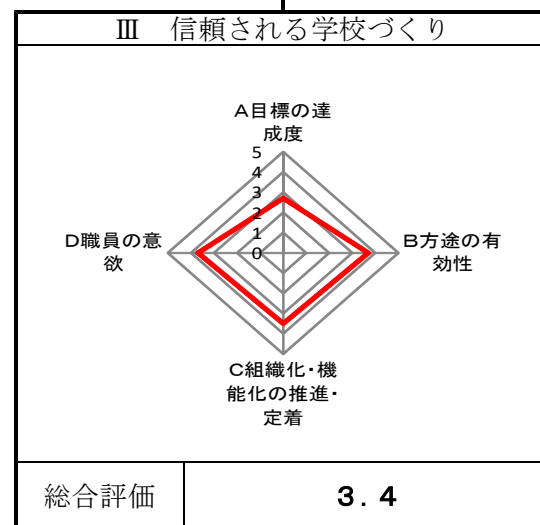
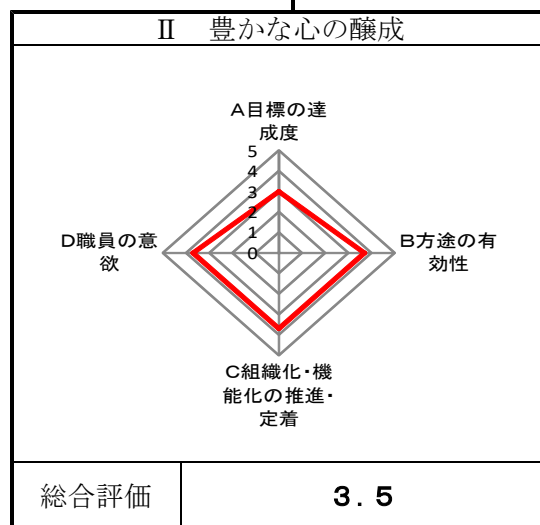
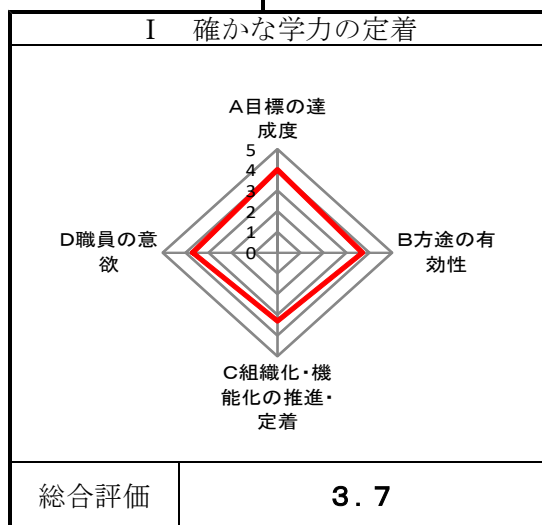


1 学校の教育目標
「自ら輝き、成長を続け、なかまと共に心身逞しく、未来を創造する生徒の育成」

2 本年度の経営の重点目標
 <確かな学力の定着> <豊かな心の醸成> <信頼される学校づくり>

3 学校評価大項目（主項目）		
I 確かな学力の向上 ○自ら学ぶ意欲をもち、見通しをもって計画的に学習に励み、基礎基本の習得をめざす生徒 ○心身ともに健康で、学校生活を明るく前向きに過ごし、学校生活を充実させることができる生徒	II 豊かな心の醸成 ○豊かな人権感覚をもち、自分の価値を認め、他者の多様性を受け入れる思いやりがある生徒 ○地域行事等に参加・参画し、地域のために貢献できる生徒	III 信頼される学校づくり ○コミュニティ・スクール（CS）の推進 ※三者（学校・家庭・地域）の連携・協働、情報の発信 ○学校の危機管理



※ 5段階評定尺度 … 「5 とても満足できる 4 満足できる 3 概ね満足できる 2 努力を要する 1 根本的な改善が必要」

<学校の実践や自己評価に対する評価（学校関係者評価）>

学校の実践や取組についての評価		学校の実践や取組についての評価		学校の実践や取組についての評価	
4.1	N = 13	3.8	N = 13	3.8	N = 13
学校の自己評価への評価		学校の自己評価への評価		学校の自己評価への評価	
4.1	N = 13	3.8	N = 13	3.9	N = 13

令和4年度 太宰府市立太宰府西中学校 学校の「実践や取組」「自己評価」に対する評価

結 果

※5段階評定尺度…「5 とても満足できる 4 満足できる 3 概ね満足できる 2 努力を要する 1 根本的な改善が必要」

3大項目	評価の視点 (細目)		自己評価		委員評価		
			各項目	総合評価	実践や取組	対自己評価	
I 確かな学力の定着	A 目標の達成度	・全国(正答率・学習状況)・県テスト、学力診断テスト、体力テスト、定期考査等の結果 ※指標以上	4	4.0	3.7	4.1	4.1
		・生徒の自己評価(主として学力面)、保護者の評価(学習指導・家庭学習)	3				
		・計画的な校内研修及び1人1～2回の公開授業の実施	5				
	B 方途の有効性	・校内研究(学びの協同活動)の成果・課題	4	3.7			
		・生徒による各教科(授業)の評価	4				
		・朝学習や自学ノート、週末課題などによる基礎学力の定着	3				
	C 組織化・機能化の推進・定着	・主任主事、研究推進委員会、学力向上委員会の機能化	4	3.3			
		・小学校、家庭、他機関等との連携	3				
		・生徒会活動を活かした学習規律や学習習慣づくりの徹底	3				
	D 職員の意欲	・主題研究・一般研修の推進	4	3.7			
		・職員の自己評価(A 学習指導)	4				
		・研究の日常化	3				
所見・所感	<p>○学校行事が減って学校の情報の収集が少なくなっているため評価が難しい。</p> <p>○多くの複雑な資料作成ご苦労様です。生徒さんたちは国語に苦手意識があるのでしょうか。国語の先生は大変です。指導法に改善が必要かもしれません。</p> <p>○目標の達成度が高く、先生方の意欲が伺えます。コロナ禍の中でICT機器を活用した授業の進め方等なお一層の推進を願います。</p> <p>○目標へ各々が同じ方向に進んでいると感じます。</p> <p>○先生たちの努力により、授業の工夫がよくされているように見える。タブレットも活用しながら積極的な効率的な授業をしていると思う。</p> <p>○タブレットを使った学習の様子を見て、子供たちにも定着してきていると思いました。「協働的な学び」で、自分の考えを言葉にして行動することができる力を身につけてほしいと思います。</p> <p>○生徒による授業評価(国語)のポイントが上がっている部分がある。生活アンケートの14や16のポイントも上がっているので、学校と生徒間のコミュニケーションがよくとれているのだと感じた。</p> <p>○授業見せていただいたとき、ICTを活用した授業がほとんどでした。以前より確実に進んでいると感じました。</p> <p>○生徒の授業態度もよく、先生方も熱心に指導されている様子が分かり、学力の向上という点は安定していると思う。職員の意欲と生徒による授業評価がかみ合わない教員がいるのかどうか気になる。</p> <p>○どの学級も落ち着いており、学習に向かう意欲を感じる。</p>						

※5段階評定尺度…「5 とても満足できる 4 満足できる 3 概ね満足できる 2 努力を要する 1 根本的な改善が必要」

3大項目	評価の視点 (細目)		自己評価		委員評価		
			各項目	総合評価	実践や取組	対自己評価	
豊かな心の醸成	A 目標の達成度	・いじめの発生数、不登校生徒の数・復帰者の数	2	3.0	3.5	3.8	3.8
		・生徒の自己評価（主として生活面）、保護者の評価（人間関係・教育相談）	3				
		・全国学力学習状況調査の数値（学校生活満足度）	4				
	B 方途の有効性	・諸行事、進路体験学習等の有効性	4	3.7			
		・校内研究（リレーション活動）の成果・課題	3				
		・生徒会活動への指導・支援とその成果と課題	4				
	C 組織化・機能化の推進・定着	・主任主事、合同委員会（いじめ問題対策委員会・不登校対策委員会）の機能化	4	3.7			
		・他機関等との連携（SC、SSW、地域、外部機関による教室等）	3				
		・学年部や分掌（道徳・特活・総合）の機能化	4				
	D 職員の意欲	・職員の自己評価（B 生徒指導）	4	3.7			
		・職員の自己評価（C 学級経営）	4				
		・生徒指導や人権教育に係る研修会、市同研への参加	3				
所見・所感	<p>○保護者アンケートにある教員の生徒への発言の案件等徹底的になくすように指導するべきである。不登校になりかねない。</p> <p>○一番指導が大変なところだと思います。反抗期、情緒不安定な年齢、世の中が不安定な時代、大変だと思います。しかも最近はよそ様の家庭のことは全く分からないし、お節介無用の時代です。先生方の苦労が偲ばれます。</p> <p>○生徒のアンケートの回答が前期よりはるかに高く、また「人の役に立つ人間になりたい73%」は素晴らしい結果だと感心している。不登校生徒数の増加は気になるところで改善に期待する。</p> <p>○生徒自身が温かい気持ちで過ごしているのだろうと感じます。</p> <p>○生徒たちと顔をあわせるとよく挨拶をしてくれてとても気持ちのいいことです。その一方、不登校生徒などの対応が難しいと思いますが頑張ってもらいたいです。</p> <p>○自分のよいところも悪いところも認めることが大切だと思います。「ほめて伸ばす」だけが教育ではありませんが、先生方には子供たちのよいところをほめてくださると自分に自信がもてるのではないかと思います。家庭の役割なのですが、よろしくをお願いします。</p> <p>○大きな行事が終わった中での生活アンケート1、4、6等のポイントが上がっている点は先生方も頑張っているのだと感じた。</p> <p>○いじめや不登校についても、引き続き監視し減少への対策を進めてほしい。とり残される生徒がいない学校になるよう希望します。</p> <p>○不登校生徒が増えているようだが、原因がいじめかどうか、今後の対策をどのように講じるか、学校の考えをお聞きしたい。生徒の生活アンケート「4 人の役に立つ人間になりたいと思う」で、あてはまると答えた生徒が多く嬉しく思った。</p> <p>○音楽の授業では、素直に歌う姿に心の素直さを感じました。</p>						

※5段階評定尺度…「5 とても満足できる 4 満足できる 3 概ね満足できる 2 努力を要する 1 根本的な改善が必要」

3大項目	評価の視点 (細目)		自己評価		委員評価		
			各項目	総合評価	実践や取組	対自己評価	
Ⅲ 信頼される学校づくり	A 目標の達成度	・市「コミュニティ・スクール推進状況の評価」の値	3	2.7	3.4	3.8	3.9
		・生徒の自己評価（地域理解や行事参加）と保護者の評価（三者連携・推進状況）	2				
		・文化理解科・地域ボランティア・学校行事・PTA行事等での実践と成果	3				
	B 方途の有効性	・CS学校運営協議会の設置要項・推進構想・全体構想等の有効性	3	3.7			
		・家庭・地域等との連携、PTA活動の活性化、情報発信の有効性	3				
		・学校事故や生徒指導に係る報告・連絡・相談の徹底、5大不祥事の防止・実践	5				
	C 組織化・機能化の定着・推進	・CS学校運営協議会の組織づくりと運営力、学校の体制づくり（校務分掌組織）	3	3.5			
		・文化理解科等地域人材の活用、外部講師等の招聘推進による組織活性化の実践	*				
		・日常的な危機管理（リスクマネジメント・クライシスマネジメント）、マニュアルの活用	4				
	D 職員の意欲	・職員の自己評価（C 校務分掌）	4	3.7			
		・職員の自己評価（C 家庭との連携）	3				
		・各種研修会や学習会への職員の参加、論文執筆、研究サークル等への参加	4				
所見・所感	<p>○地域の私どもからは学校の内部はほとんど分かりません。近所の中学生の生徒さんを見る限り落ち着いていると思われます。先生方の努力の結果だと思ひます。世界は政治も経済も混乱状態です。戦争などにまきこまれず幸せになってほしいです。</p> <p>○中学校は受験のためにあるのではないということを理解していない保護者がいます。中学校は塾ではないことを伝えたいです。</p> <p>○保護者への信頼回復に努力の後が見える。地域もコミュニティ・スクールの推進に向け、努力し協力していきたい。</p> <p>○開かれた学校にすることで、保護者のより細やかな意見があるのは期待のあらわれだと思ひます。</p> <p>○校長先生をはじめ先生方の努力により、時代に合った取組（校則見直しなど）を積極的に取り入れている。協議会資料もきちんと集計されており、実態を把握し反省し、次回に生かす取組ができています。</p> <p>○学校と保護者のコミュニケーションが大切なのではないかと思ひます。欠席、不登校の家庭にこまめに連絡をしていただくとよいと思ひます。</p> <p>○とくにBについて、学校HP「校長から」では親しみが感じられ、学校、地域（家庭）の壁もなくなると思う。</p> <p>○学校の取組を家庭に理解してもらう方法についても今後の検討項目の1つだと思ひます。PTA、学校からの発信や地域と連携した形も考えていければよいと思ひます。</p> <p>○目標の達成度が低いが、コロナ禍で仕方ないところである。次年度に期待したい。</p> <p>○文化理解科について復活を望む。</p> <p>○学校事故や生徒指導に係る報・連・相、不祥事防止については教職員の努力の結果高い評価が得られたと思う。</p> <p>○学校だより「樟蔭」が定期的に発行されており、学校での取組だけでなく育てたい子供の姿をメッセージとして伝えてくださっています。</p> <p>○生徒と保護者の評価が「2」という厳しい評価になっていることが気がかりです。いつの時代も社会でも「満足」というわけにはいかないでしょうが、近づける努力をお願いします。</p>						